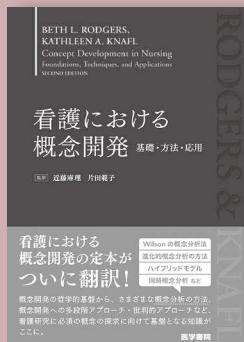


今月の 新刊紹介



看護における概念開発 基礎・方法・応用

著：Beth L. Rodgers, Kathleen A. Knaf
監訳：近藤麻理、片田範子
発行：医学書院
定価：3960 円（本体 3600 円＋税 10%）
A 5 判 408 ページ

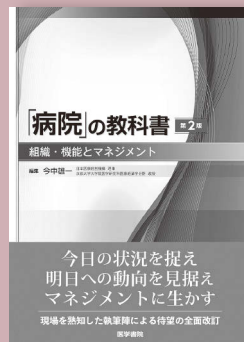
概念分析・概念開発の定本を翻訳。概念開発の哲学的基盤を踏まえながら、看護における実用性を意識し、ロジャースの概念分析やウィルソンの概念分析、概念開発のハイブリッドモデルなど、看護領域で用いられることの多い手法を紹介。



APA に学ぶ 看護系論文執筆のルール 第 2 版

著：前田樹海、江藤裕之
発行：医学書院
定価：1980 円（本体 1800 円＋税 10%）
A 5 判 128 ページ

『APA 論文作成マニュアル』の改訂に合わせてアップデート。同書翻訳第 3 版の内容を踏まえ、「APA スタイル」を用いた日本語による論文作成、文献表記、文献リストや図表などの表記方法を提示。論文執筆に役立つ 1 冊。



「病院」の教科書 第 2 版 組織・機能とマネジメント

編：今中雄一
発行：医学書院
定価：4950 円（本体 4500 円＋税 10%）
B 5 判 344 ページ

病院をめぐる現況・今後の動向を捉え、組織マネジメントの向上を目指すための教科書。本改訂では医療の進展、法制度の改定による変化に加え、DX の推進に伴う業務の見直しなど、課題に向き合うための知識も更新。新任の病院職員から経営層まで必読の書。



ケアプランが変わる！ 在宅介護が変わる！ 床ずれ予防プログラム 床ずれ危険度チェック表®を活かす

編：日本褥瘡学会、在宅ケア推進協会
発行：日本褥瘡学会、在宅ケア推進協会
定価：880 円（本体 800 円＋税 10%）
A 4 判 64 ページ

ケアマネジャーを対象にリスクアセスメントスケールとして開発された「床ずれ危険度チェック表®」を在宅でのケアプランに生かす手引書。本書では、8 つの褥瘡（床ずれ）発生リスクを学びながら、チェックリストにより問題解決や多職種連携につなげられる。



医療福祉総合ガイドブック 2023 年度版

編：NPO法人 日本医療ソーシャルワーク研究会
発行：医学書院
定価：3630 円（本体 3300 円＋税 10%）
A 4 判 328 ページ

利用者の生活場面に沿って医療福祉サービスを解説したガイドブックの 2023 年度版。各保険のほか、障害者総合支援法、子どものいる家庭への支援、自然災害に対する支援など、利用頻度の高い制度から地域ごとのサービスまで網羅。医療福祉関係者必携の 1 冊。



ケアシステム 「治し支える医療」を実現する 地域包括ケア

編：飯島勝矢、山本則子
発行：東京大学出版会
定価：4400 円（本体 4000 円＋税 10%）
A 5 判 208 ページ

地域包括ケアシステムに関する先進的で実践的な取り組みを紹介。国や市区町村の取り組み、在宅医療・在宅ケア、多職種の統合など、安心なケアシステムを設計するための多様な視点を明らかにする。地域包括ケアの展望と課題を提示する 1 冊。